

第4回eモニターアンケート 「男女共同参画について」

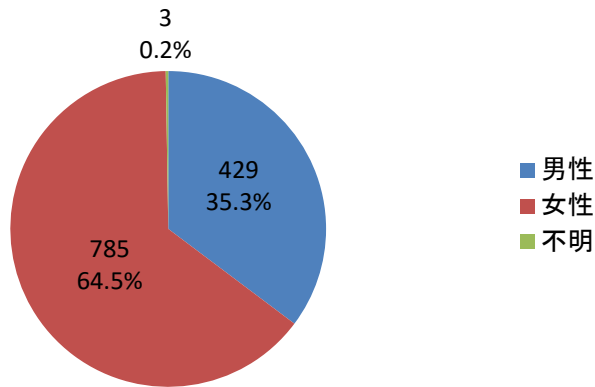
実施期間
回答数

令和3年7月30日 ~
1217 人

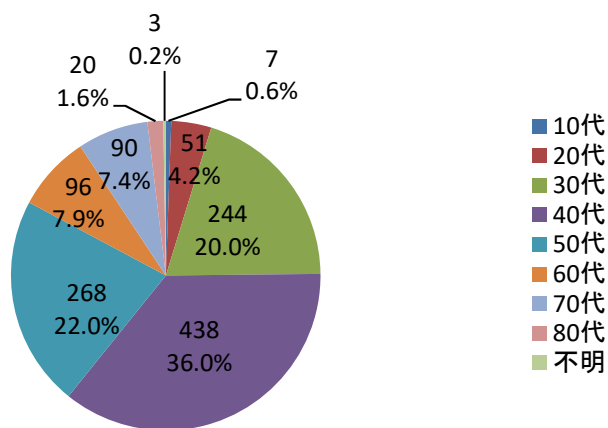
令和3年8月6日

※単位は全て、円グラフは人（割合）、棒グラフは人

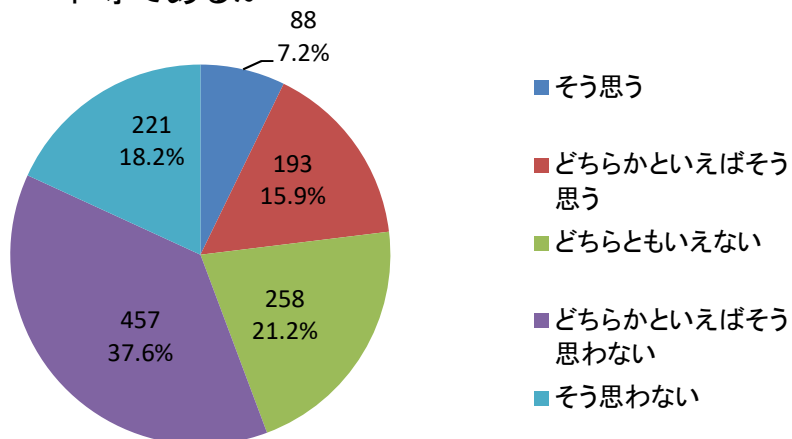
性別



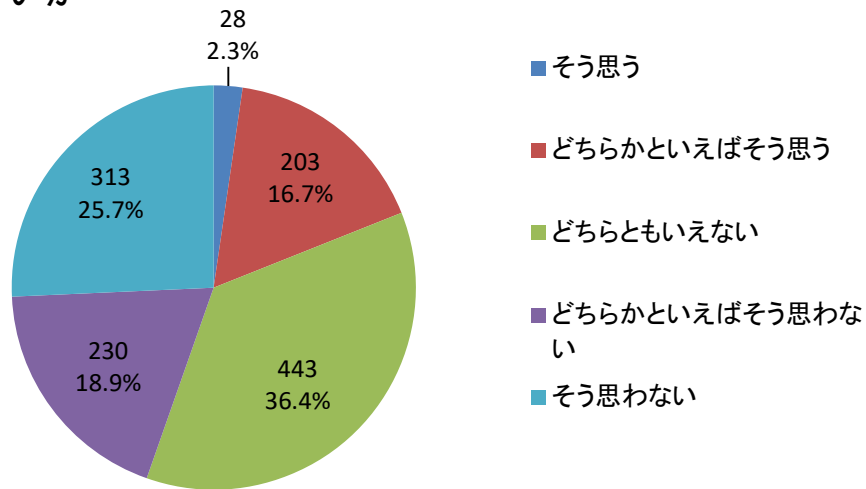
世代別



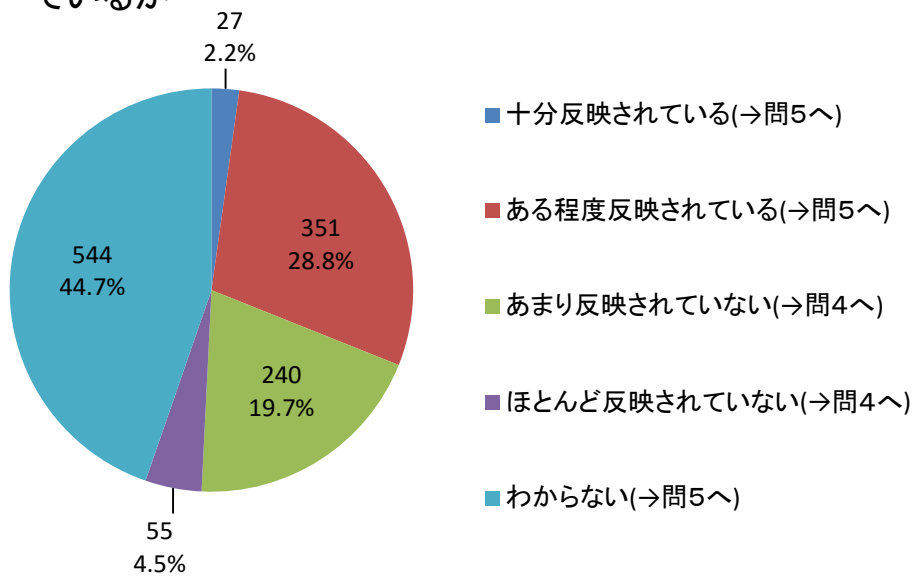
問1: 社会通念・慣習・しきたりなどにおいて男女 平等であるか



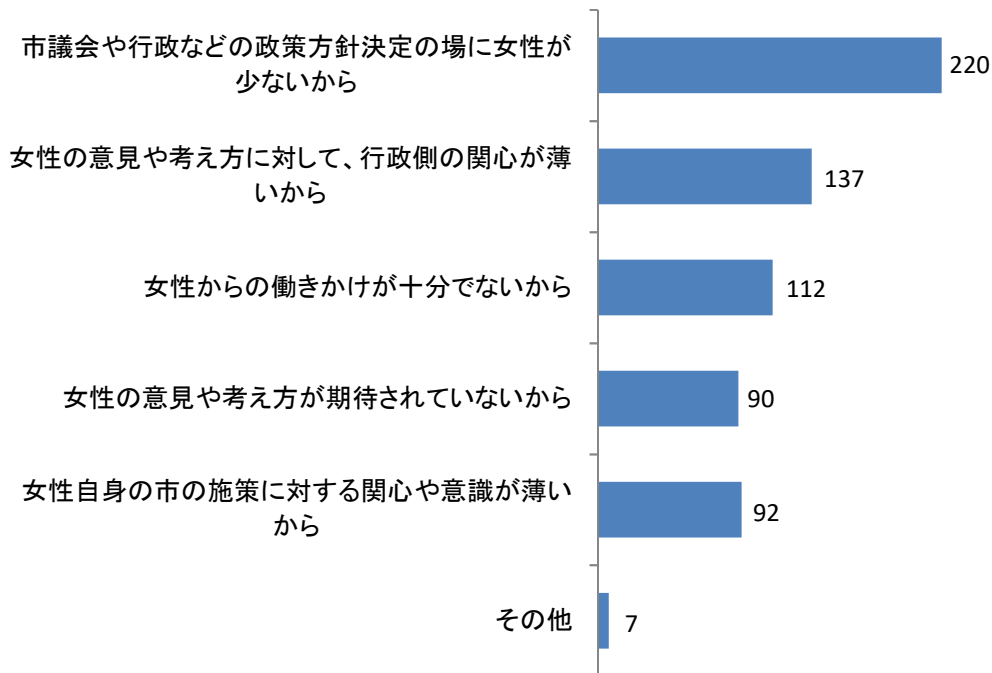
問2: 男性は外で働き、女性は家庭を守る方がよいか



問3: 市の施策に女性の意見や考え方が反映されているか



問4:市の施策に女性の意見や考え方が反映されていないと思う理由(複数回答)

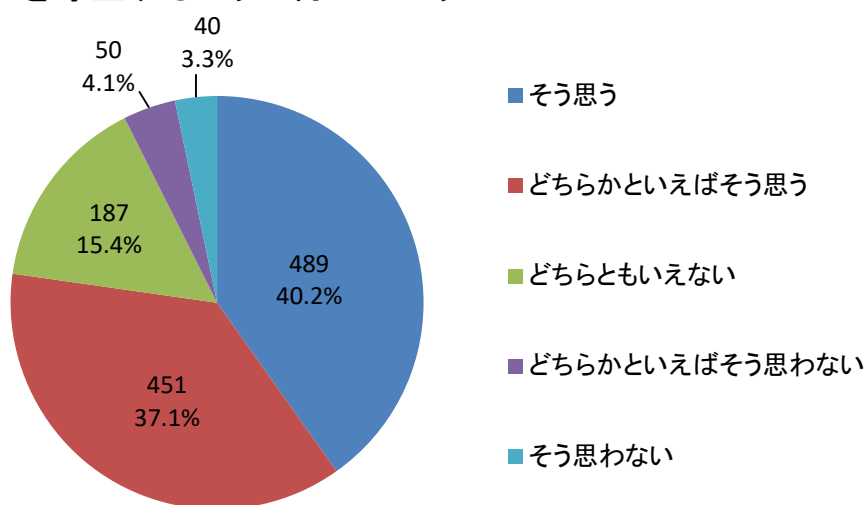


※問3で「あまり反映されていない」「ほとんど反映されていない」と回答した人

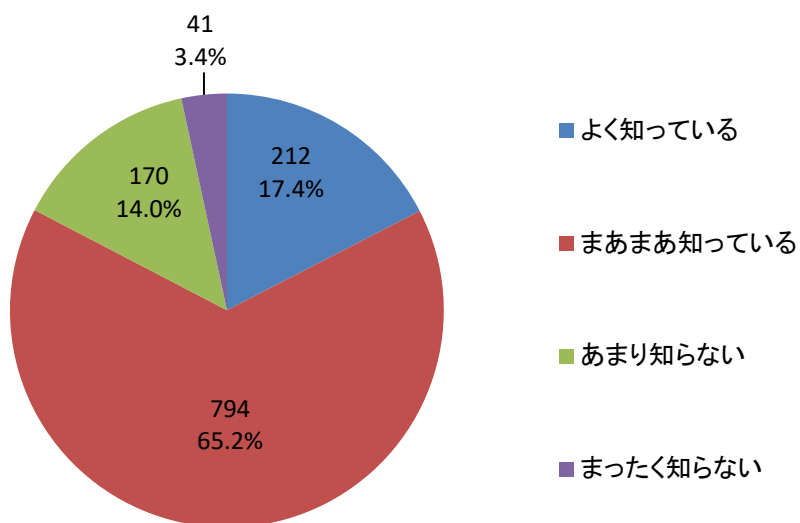
【主なその他意見】

- ・政治の世界はまだまだ女性が認知されていないように感じている
- ・田舎だから、未だに男尊女卑だと思う
- ・この問いに対して思い浮かばない→施策がない?
- ・市からの子ども関連は全て母親が対応する前提になっている

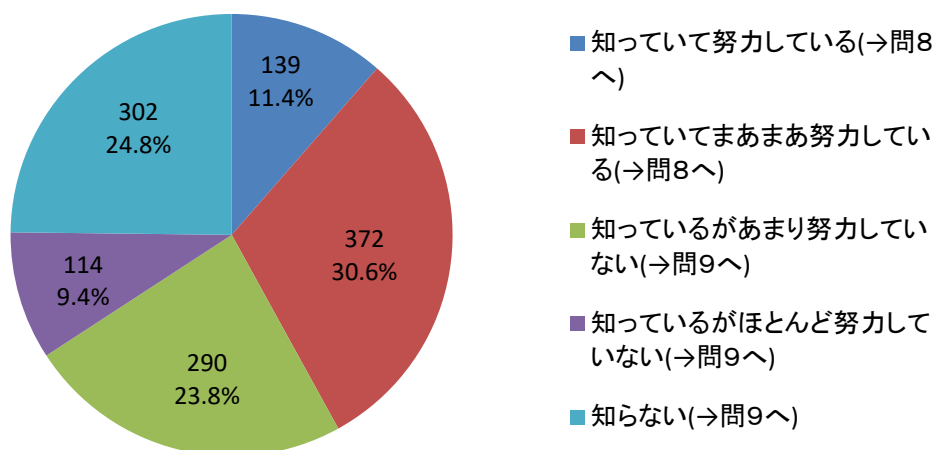
問5:子どもは女らしさ、男らしさにとらわれず、個性を尊重するように育てたほうがよいか



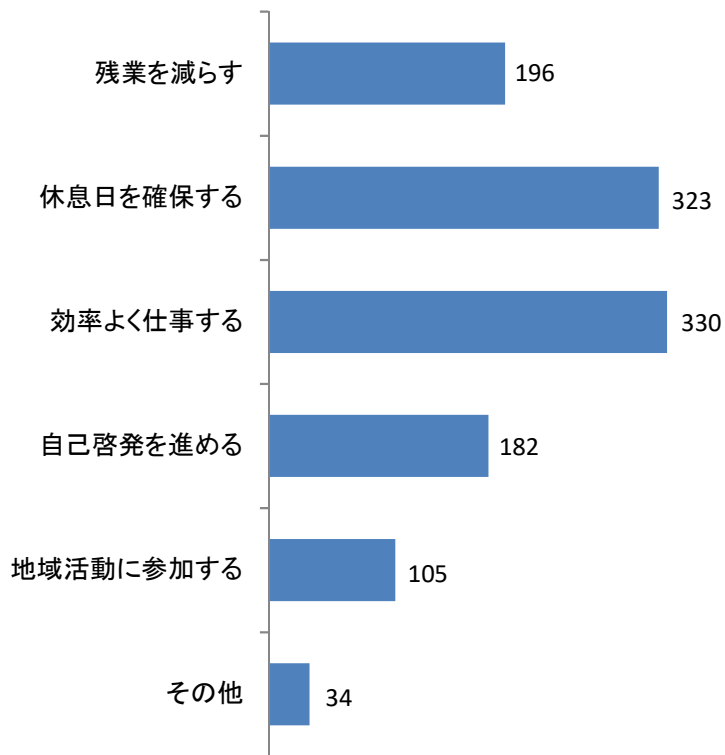
問6:LGBTについて知っているか



問7:ワーク・ライフ・バランスについて



問8: ワーク・ライフ・バランスの実現のために行っていること(複数回答)

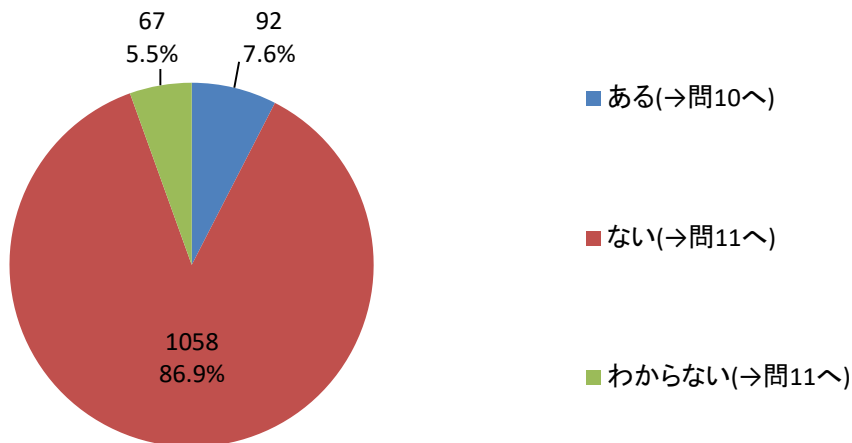


※問8で「知っていて努力している」「知っていてまあまあ努力している」と回答した人

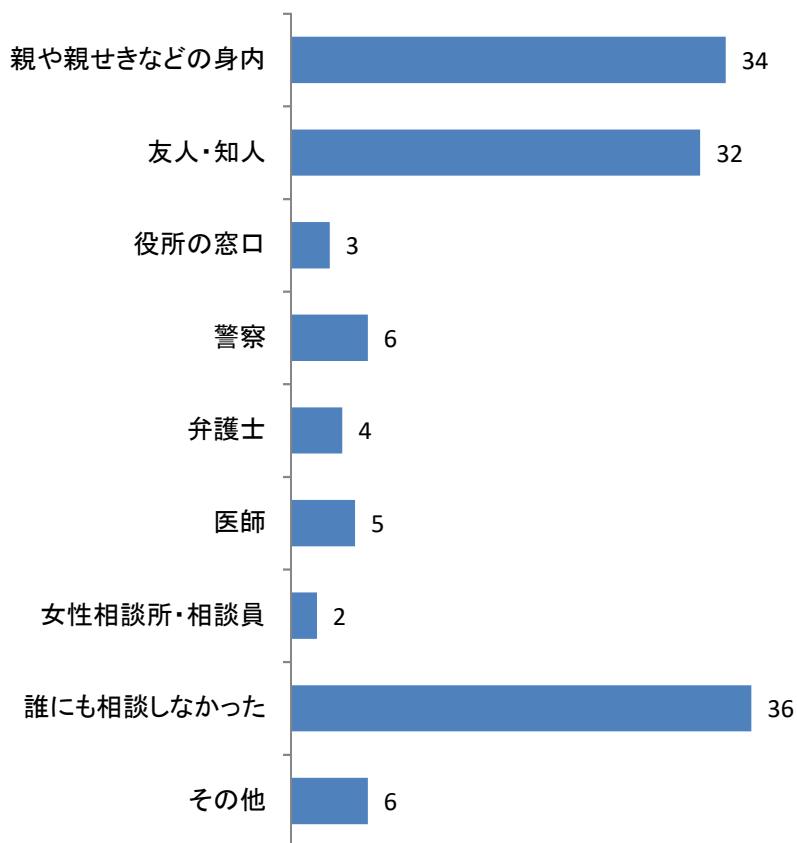
【主なその他意見】

- ・家族との時間、趣味を大切にする。家族サービス
- ・家族で協力する。家事の分担
- ・時短勤務・在宅勤務を活用
- ・積極的に、有効な年休の取得を会社全体で行う
- ・趣味、生きがい、夢を見つける
- ・仕事の時は仕事、休みは休みの切り替えをしっかりとる
- ・育児でたびたび抜けてあまり戦力になれないことを職場に伝えて理解してもらっている
- ・自分に合わせた雇用形態での就業をする
- ・残業しなくても良いような賃金水準になるように会社と交渉する
- ・時短家電の積極的活用

問9: これまでにDVを受けたことがあるか



問10: DVを打ち明けたり相談したりした相手



※問9で「ある」と回答した人

【主なその他意見】

- ・一般のDVサポート団体に電話した
- ・Twitter
- ・会社の相談室

問11：女性活躍や、多様なライフスタイルの選択ができる社会づくりに必要だと思うことをご記入ください。

現代は共働き世帯がほとんどなので一段と女性のための各種の制度・施策が必要となってくると思います。安城市でも他市に先駆けた政策の実施をお願いしたいと思います。

女性の活躍がどこでできるのか？いろいろな面において知らない事が多いので、わかる場所があればよい。起業支援にしても知ってる人は利用できる、知らない人は存在すら知らない。女性の安心の場であるコミュニティなどがあればよいと思いますが、安城市においてそれがあのか？というところです。

女性は外で働いて活躍したい人ばかりではなく、仕事と育児を両立したい人ばかりでもなく、本当は小さいのは今だけだから家で子どもを見ていたい人も多い。しかし、収入面で補わなければいけない人も多いし、いろいろなものが無償化になってもまだまだ足りないところが多いので、働かざるをえない人がたくさんいる。共働き前提の待機児童解消…だけでなく、もっと子育て世帯へのいい仕組みを率先して取り組んでほしい。

市議会議員の半数を女性にしてみても、どうでしょうか。

政治の場に女性の参画を増やすべき。

多様なライフスタイルの選択ができるということは、今までの価値観で生きる事をも内包すると言う事である。従って、「女性活躍」を例に挙げるならば、社会に出てバリバリ働く女性を行政として後押しするあまり、家庭に入って家族を支える女性にマイナスになる策を講ずることはあってはならないという事である。ここのバランスを考えて、急進的な見目の良い、その実とても差別的な策を採らないようによくよくお願いしたい。

女性が市の施策について、参画できる場が少ないように感じます。一度、ワークグループに参加させていただきましたが、参加した女性は皆さんいろいろな意見を発表していらっしゃいました。

多様なライフスタイルの選択といいながら、所得税の配偶者控除や国民保険の第3被保険者など専業主婦を優遇する制度があるのが現状です。このテーマで必要なことは、男性ではなく女性の意思決定者によって物事を決めて行くことだと思います。

女性が責任者の女性だけの相談窓口の開設。

小さい子どもがいる家庭ばかり優遇され、今まで制度が充分でない中で働きながら子育てしてきた高校生、大学生を持つ家庭には支援が少なすぎる。今回のコロナ禍でも、つくづくそれを感じます。

男性の育児、家事参加等を促すため育休を最大限に取得をさせる。
在宅勤務等、子育てしながらでもできる仕事を拡大する。

男性の育児休暇の取得向上。

介護で仕事を休まなくてはならない人が休業手当を受けやすい社会になるといい。

企業は男女関係なく能力によって評価すべき。社会的にはハラスメントを減らす努力をすべき。一般的には男女平等社会ではなく、女性優遇社会になりかねないので危惧している。

近い場所で考えてみると、町内会長など地域のトップが男性のみという現状がある。まずは町内会レベルから女性も活躍できるようにしていくべきではないだろうか？

まずは住んでいる所、地域での交流を盛んにし、人間関係をしっかり作ることが大切だと思います。

昔から続く地域の習慣、地域性がある限り、多様なライフスタイルを選択するのは難しいと思う。そしてそれらを変えていくのはさらに難しい。

子どもの頃からの教育。そのため、育てる親に対する教育(考え方を教える、見せるための方法など)も必要だと思う。

幼少期から男女の区別と差別の違いを教えて欲しい。例えば名簿、選択制の授業、制服、性教育などは男女で分けるのは差別だと思う。逆に身体的なプライベートゾーンが違うから更衣室やトイレは区別が必要だと思う。少しでも刷り込みが少なければ成長していく中で差別の意識が減るんじゃないだろうか。

生理休暇はズルくない。産休は休みじゃない。ミルクなら赤ちゃんのお世話は父でも全てできる、ママしかだめなことはない。男に対してもセクハラはある。母が大黒柱でも、父が専業主夫でもおかしくない。女子が技術課程とっても、男子が手芸部でもいい。男女どちらでもない人がいるのも当たり前。短髪の女子も長髪の男子も清潔ならよし。なんなら本当に必要な場合以外、男女を示すこともなくていいと思う。

<p>出産や育児、介護等で働きたくても働けない女性、世帯に対する支援制度の充実。女性が育児休暇等から仕事へ復帰する際のサポート。 女性を活躍させるために不必要に女性をリーダーにしたり、女性の意見に偏らせるのではなく、男性と同じような基準の中で女性が活躍していけるようになると良いと思います。そのために、女性を軽蔑するような考えを持った男性がいるのであれば考えを改め、男性女性関係なく対等に物事を進めていけると良いと思います。</p>
<p>女性の意識改革。女性による女性軽視が酷い。</p>
<p>小さい頃から男女にあてはめず個性を尊重し育むこと。赤ちゃんの服の色、ランドセルの色、制服のスカートなど、男らしい、女らしいで決めず、自由な選択を促し、社会はそれを普通に受け入れられる社会の意識作りが大事だと思います。</p>
<p>男女平等を望むのであれば、性別で違う体調を理由とした不調なども全面に出しての主張や言い訳をしてはいけないと思う。</p>
<p>男性だから、女性だからではなく、性別問わず、昔からの「～であるべきだ」などの考え方を捨てて、内容や、人材が素晴らしいなら、積極的に取り入れたり、採用していくことで、自然と個性が生かしていける社会につながっていけるのではないかと思います。</p>
<p>自分も昭和の人間なので、現在の中老年世代の意識がすぐさま変わるのは無理があるとわかる。10年20年と長い年月が必要だが、ほんの少しずつでも男女平等の理念が根付いていくよう身近な問題から変えていけるとよいと思う。学校教育だけが先に進むのではなく、中老年への意識改革が同時進行で進むべき。世代間ギャップを広げてはいけないと思う。</p>
<p>私は女性。男性9割の職場で働いているが、やはり年代の上の人になればなるほど、男尊女卑がすごくある。大学までは平等にだったとしても、採用試験や採用の条件の段階から、急に女性は下に落ちる。育児短時間を使うと、査定を下げられたり、残業できないからと、査定を下げられたり。女性の方が体力ないのに、男性と同じバイタリティーで働き続けるのは、かなりしんどい。まずは男性の意識改革が必要。</p>
<p>学校、職場等のユニフォームを性別に関係なく選べる。</p>
<p>安城市が、男女共同参画を推進するなら、男性女性共に意識改革が必要だと思います。ですが、年配の方は無理だと思うので、世代交代がされれば、その内社会的意識も変わるのではと思います。若い世代は、男女の線引が薄いです。男性でも料理や育児をする時代ですので。ですが、市政を行う市議会議員等男性が大多数ですので、半分は女性にする等、女性参画が浸透するまで強制的に決めるとかいかでしょうか。成り手がいないなら推薦とか、方法は色々あると思います。市の運営に関わっている方が、家庭のこと等妻に任せきりなら、そこから意識改革するのもありかと思います。</p>
<p>子育てしながら働くことは、職場、周囲の環境が整わないとなかなか難しいと思う。実際幼稚園保育園の延長保育なしで労働できるかというのに、女性の労働の自由を推奨しつつも、特別な延長保育等を使わなければ働けない環境というのはどうなんだろうと思う。全ての子がたとえば8時から18時まで預かってもらえるとなれば働きたいと思う専業主婦の人たちも増えるのではないかな。実際私も子供が欲しいが前職では両立が難しいと思って、長距離通勤、長時間労働の会社を退職した。現状保育園幼稚園の状態を見ると通い始めは病気で休むことも多いだろうし、職場復帰は幼稚園に通って慣れてしまわなければならないと無理かなと妥協してしまっています。</p>
<p>保育園に預けられたとしても、核家族では緊急のお迎えや体調不良での欠席に対応するために、父か母の仕事の調整する必要があります。働く女性を増やすには、待機児童の解消だけでなく病児保育の拡充も必要だと考えます。</p>
<p>親が仕事で不在、近くに祖父母もいないと、長期休暇や祝日などの休みの日の食事が気になります。高校生までの子どもが、学校が休みの時に食事ができる場所が、中学校区ごとにあるといいなと思います。市役所にある食堂のような感じ。</p>
<p>安城市内の公立保育園に子どもを預けています。仕事がお休みの日にも預けられる時間があり、本当に助かっています。自分の時間を持つことができ、子育てや家庭環境の円満にも繋がりました。ありがとうございました。これからも子育てする母に優しい社会が続いて欲しいです。</p>
<p>偏見を持たず、意見を尊重し、よく話し合う事が必要だと思います。</p>
<p>女性の意見、男性の意見と考える所がそもそもおかしいと思う。性別で考えずに人の意見を生かす(活躍させる)市政であって欲しいと思います。</p>
<p>差別の公平を周囲が配慮してお互いに尊重していく社会へ……。自然な形へと受け入れられることが大切です。</p>
<p>田舎故まだまだ声が届かないと思う。直接意見したい。</p>
<p>私は家で子どもの成長を見て家の中を快適にしたいので、女性活躍や働けて事に抵抗があります…。LGBTなどの意見に耳を傾けるなら、そう言った古い考えの人の事も考えて欲しいです。</p>

女性活躍という言葉が好きではない。女性でも男性でもそれ以外の性別をもった人でも誰でも過ごしやすくやりたいことができる社会であって欲しい。
夫婦別姓がみとめられない。LGBTQのパートナー同士が新しい家を探すときに不動産会社に良い顔をされない(不動産会社がよくても大家側が良い顔をしない、理解がない)。こういったことがない社会だと良い。

最近「女性も社会で活躍すべき」との風潮が強く、女性の社会進出も進んでいるように思います。しかし、反面、昔ながらの「専業主婦」の立場・地位が低くなっているように思います。これは憂うべきことだと思います。家事労働も立派な社会活動だと認めることも必要だと思います。
また、子育てをしながら仕事をする女性を理解できないのが、実は子育てをしていない女性なのだと思います。私も独身で長らく仕事をしましたが、子どもを理由に「早退をする」「残業できない」方にイラついた経験があります。女性だから、子供がいるから、男性だからを超えて、同じ条件で労働できなければ真の理解は得られないと思います。最低限の平等を定めた上でないと、働き方を自ら選択することはできないと思います。そこから先は、平等なんて関係ないと思います。多様性というのは、すべてが平等ということとは違うと思います。子育てと両立するもよし、女を捨てて働くのもよし、専業主婦もよしです。

女性の身体面や心理面を考慮した世の中の仕組みづくり。

男性が仕事ばかりではなく、地域や家庭にかかわれるような時間配分が取れる世の中。

考え方は人それぞれなので、少数派の考えを尊重しましょうという押し付けは止めるべき。

個々の意識改革が大事だと考えますので、啓蒙活動が必要に思います。また、市が率先して女性が活躍できる場を設けるのもよろしいかと。ちよくちよく耳にする役職の数合わせは女性に対して失礼だとは思いますが、機会を与える幅を拡げるのは良いと思います。

仕組みと女性側からの働きかけの両方が必要だと思う。

女性自身が仕事を主体的に取り組む意識を強く持つよう、社会全体で啓発すること。企業・団体では、女性を管理職にもっと登用するよう、能力開発の機会(研修)の増加と、人事考課方法・運用の見直し。産休を取るにより業務から一時的に離れることを悪としない意識の醸成、組織内で他の者がカバーし合う運用の定着、職場復帰にマイナスとならない組織風土の醸成。

今のままで充分だと思います。

情報公開。

問5に子どもに対しては性別にとらわれない方が良いように問われているのに女性活躍を進めようという考え方は偏重していませんか。
多様なライフスタイルの選択と女性活躍は論点が違いますが、安城市としての社会づくりのビジョンはありますか。

このアンケート結果を基に女性意見を取り入れた具体策はありますか。

海外の好事例を真似する。

女性に活躍しろと言う割に、男性より平均年収が低い事が納得いかない。妊娠出産、育児休暇を取得するのは女性。子どもが熱を出したなどのお迎えで、仕事を早退するのもほとんど母である女性。ペコペコ謝りながら早退するのも疲弊する。こっちも仕事をしているのに不公平だと思う。
週に1日しか休みがないのに、ワークライフバランスを充実させるなんて無理な話。もっと人が気軽に頼れる社会を作ってほしい。

広く周知されて来ているから、継続していく事だと思う。

なかなか変わることはないが、それでも必要なことを提案し続けることは大事だと思う。

女性の雇用枠や、役員登用をさらに増やしていけばいいと思います。女性が活躍している企業を見ると、女性の働きやすい環境づくりがしっかりとなされているところが多いです。(育児休暇の充実、育児後復帰率など)

あとは、生理に関する補助を充実して下さるとありがたいと思います。今女性個人がそういったことに充てる金額の負担が高いということを見ました。生理が重い人は低用量ピルを服用してたりします。それだけでもかかる金額は、薬だけでも3ヶ月で保険適用して6000円程度かかった記憶があります。それだけでも負担していただけると助かる人はたくさんいると思います。

社会全体の寛容な受け入れの姿勢しかない。絶対に男、女しかできないこととは…?を考える機会。男は仕事、女は家庭、の真逆の生活をしている人たち、プロフェッショナル等の紹介(色々な家族、色々な生き方を広報で掲載)し、幅広い世代へ周知させる。市のHPに同じ悩みを持つ人への投稿サイト、応援メッセージ、オススメのサークル、催しを紹介できたりすると、良いと思います。

家族で役割を相談、分担する。子どもに他人への偏見をなくす教育をする。人の数だけ考え方があることを大人も学ぶ。そう言う機会を地域活動などで学ぶ。

興味がないので好きにやってください。自分が見た限りでは女性のほうが上位だと思います。マイノリティについては他人に迷惑をかけないなら勝手にやってもらってかまいません。

年金生活をしており、男女共同参画の必要性やこれの問題に遭遇することが無いように思われるので、何らかの形で更なるアピールが必要と思います。

女性活躍というお題目自身をやめる。それをテーマにするところが1番「男性」「女性」と分けて見ている。全て能力と本人の意思次第だと思う。性別を理由に活躍を阻止することへの条例や法律を厳格に守らせるだけで十分。

女性の選択肢を重視するあまり、職場に女性従業員を無理に採用する事で男性社員へ負荷が掛かる弊害が出ている。例えば力仕事や危険作業の事で、他の社員がそれまで普通に行っていた事が、女性への配慮が入る事で男性社員への二重の負荷として課される（賃金の差はなく）。結果、人間関係の悪化や生産性の低下を招く。

女性の選択肢を広げるのは結構だが、全てのケースにおいてフラットさを求めすぎではないか。最近は『男性（女性）従業員募集』という文言も使われなくなっているが、結局は適材適所が男女ともに理想的なのではないか。

医療業界は昔から女性優位の社会である。なので女性と男性の区別のない社会を作ることは難しくないと思う。必要なことは区別している人の考え方を変えること。

今、働き盛りの世代以降は多様性があるのでは。むやみに女性女性というと反対に男性差別になることもある。LGBTを推進するのは反対。マスコミにそういう人が頻繁に出るのが悪い。若い人には生まれてきたままの自分を愛することを教えたい。